

新年あけましておめでとうございます。皆さんには、心新たに仕事始めの日を迎えていただいたことと思います。平素より様々な分野で奈良県の子どもたちのためにご尽力いただき、心から感謝申し上げます。

2020年の東京オリンピックまであと1年となりました。オリンピックに向けて、人工知能（AI）が人間に代わって運転するセルフドライビングカーの研究が進んでいます。様々な国からの観光客が想定されますが、自動運転タクシーであればどんな言語でも目的地さえ言えば客を運ぶことができます。また、運転手の数には限りがありますが、自動運転タクシーが実現されれば、多くの台数を動かすことが可能となります。

AI・IoTなどの進展、グローバル化の加速など、変化がますます激しくなるこれからの時代を生きる子どもたちのために、学校で、どのような力を付けるべきでしょうか。

子どもには、グライダー能力と飛行機能力が同居していると言われています。受動的に知識を得るのがグライダー能力、自分でものごとを発明、発見するのが飛行機能力です。これまでの学校は、主にグライダー能力を養成する場所であったように思います。基礎的な知識の習得も必要ではありますが、AIが発展するこれからの社会で生きる奈良県の子どもたちのために、好きなことに夢中になって挑戦し、自らの手で人生を創出することができる飛行機能力をさらに伸ばす教育をしっかりと実践していきたいと考えています。

昨年には、県立高等学校適正化実施計画を策定し、県議会で議決をいただきましたが、県民の皆さんには、手順を踏んで丁寧な説明をすべきだったと思っています。しかし、この計画は単なる生徒減少への対応ではなく、高校教育の質を高め、時代の変化に対応できるような未来の学校づくりを行うためのものです。今後、計画に基づいて、魅力と活力ある学校づくりを目指し、皆でアイデアを出し合っていきたいと考えています。

奈良県の子どもたちが、飛行機能力を伸ばし、自らの手で人生を創出することができるよう、ともに取り組んでいきましょう。

本年が皆さんにとりまして、明るく希望に満ちた実り多い年となりますよう心から祈念申し上げます、新年の挨拶といたします。

平成31年1月4日

県教育委員会教育長 吉田 育弘